

## 減災・復興実践学教育プログラム認定申請書

以下の講義を履修・単位を取得し、教育プログラムの修了要件を満たしました(満たす見込みです)ので、教育プログラムの修了認定証を申請します。

氏名 所属・学年 修士課程入学年月 年 月

修士/博士論文題目：

単位を取得した(する見込みの)科目に○をしてください。

科目名	単位	履修区分 A	履修区分 B
水災害軽減学演習	2	◎	◆
水害シミュレーション学 E	2	○	◆
自然災害のモニタリングおよび制御学 E	2	○	◆
耐水建築構造学	2	○	◆
構造信頼性工学	2	○	◆
都市防災特論	2	○	◆
地域安全システム学	1	○	◆
復興デザインスタジオ	4	◆	◎
復興デザイン研究コロキウム	2	◆	◎
設計製図第 1B 又は設計製図第 2B	4	◆	○
復興デザイン学	2	◆	○
復興デザイン実践学社会接続演習	1	◆	○
災害とリスクの過程分析 IE IIE	1	◆	◆
国際協力における数理分析手法 IE IIE	1	◆	◆
河川工学特論 E	1	◆	◆
海岸水理学 E	1	◆	◆
水文学特論 E	2	◆	◆
海岸工学特論 E	1	◆	◆
復興建築計画論	2	◆	◆
木質構造学	2	◆	◆
建築防災計画	2	◆	◆
水質汚濁制御基礎 E	1	◆	◆
環境管理適正技術論第二 E	1	◆	◆
都市設計特論第 3	2	◆	◆

※履修区分は A：巨大水災害コース、B：復興デザインコースで、◎は必修、○はコア科目、◆は選択科目。

※A および B コースの以下の要件のいずれかを満たせば修了が認定される。

※A、B ともに上記科目から合計 12 単位以上を取得し、その中で A は必修科目(2 単位)およびコア科目 3 単位以上を、B は必修科目(4 単位)およびコア科目 3 単位以上を、それぞれ取得すること。 ※上記要件に加え、申請者は A、B ともに修士/博士論文研究を発表する。研究内容に関するプログラム教員との議論を経て修了が認定される。